

地中熱工事の開始

認定こども園の冷暖房設備において、再生可能エネルギーである地中熱ヒートポンプを導入します。現在、地中掘削作業（100m掘削×9か所）が行われています。

【地中熱ヒートポンプ概要】

一定深度以下の地中温度は年間をとおり10～15℃で安定している。夏場は外気温度よりも地中温度が低く、冬場は外気温度よりも地中温度が高いことを利用し、地中熱を熱源とすることで効率よく冷暖房を行うことができる

<地中熱のよいところ>

- ・昼夜、気候条件などの影響を受けず、枯渇することのない安定したエネルギーである
- ・大気への熱放出がなく、地球環境にやさしいシステムである
- ・ランニングコスト（年間かかる経費）が安くなる

①特殊重機で掘削し、地中およそ100mまでチューブを入れていきます

②掘削完了後の穴です。

100mのチューブが中に入っています



※再生可能エネルギーとは「絶えず資源が補充されて枯渇することのないエネルギー」、「利用する以上の速度で自然に再生するエネルギー」という意味の用語